



1 小中一貫教育全国サミット in 飯塚：授業公開に向けて

(1) 穂波東校小中合同研修会

小中合同研修会では、小中の研究主任と、市教委の指導主事の説明・講話を通して、「サミット：公開授業に向けた取組の実際や見通し」「サミットに向けた穂波東校の取組の価値」を明らかにすることができました。



サミット公開授業における穂波東校指導案づくりでは「小中一貫教育の視点から単元をとらえ、穂波東校授業スタンダードに基づき本時の授業を構成する」等について、岩倉先生、平尾先生が説明されました。



「小中一貫教育の視点からとらえた単元観の具体例」「穂波東校授業スタンダードに基づく授業づくりの実際」「穂波東校の小中一貫教育の良さ」等について分かりやすく永水指導主事が講義をされました。

また、小中合同研修会では、筆者が「公開授業までのロードマップ」を示し、11月4日（金）の授業公開日までに「6つのステップ」があることを説明しました。そこで改めて確認します。

本日7月1日より「ステップ2」に入ります。「ステップ2」では、「授業者は公開する授業の構想づくりに取り組む。」となっています。「どの単元で、どのような小中一貫教育の視点を持って、どのような授業を構成するか」について、今月末までに構想をまとめられますようお願いいたします。

(2) 「サミット：公開授業」におけるコンセプト

前述したように、今回の小中合同研修会を通して、改めて本校の小中一貫教育の価値を再認識することができました。そこで、「サミット：公開授業」において、「このような公開授業になれば良い」という思いをこめ、そのコンセプトをまとめてみました。

小中一貫校穂波東校では、小学部・中学部共通の学校教育目標「社会を生き抜く力の根っこを育てる」の達成に向け、本校の小中一貫教育のグランドデザインである「穂波東校：9年間の教育活動プラン」に基づき、小学部と中学部が連携・協働しながら、組織的・計画的に教育活動を展開しています。

その中の一つである授業づくりは、「教師主導の『教え込む授業』から児童生徒が主体となる『学び取る授業』への改善」を目指し、1学年から9学年まで一貫して「穂波東校授業スタンダード」に基づいて取り組まれています。公開授業では、飯塚市の教育施策に基づくキャリア教育、プログラミング教育等、多様な授業を「穂波東校授業スタンダード」に基づき提案させていただきます。

このような公開授業の実現に向け、ステップ2→ステップ3・・・と、その取組が進みますよう先生方のご努力とご協力をお願いいたします。